

原さんが主宰する患者会

〈よつばの会〉



↑今年の4月9日「子宮の日」に神戸で行われた、子宮頸がん検診を促す「LOVE49キャンペーン」に参加。原さんは自ら街頭に立ってチラシを配り、検診に行こうと呼びかけた

婦人科がん体験者の分かち合いの場を主宰

原さんが子宮がん体験を公式発表した後、自身のブログにコメント欄を開設すると、婦人科がんで苦しむ女性たちから数多くのコメントが寄せられました。「婦人科がんは周囲の理解が得られないことも多く、自分の殻に閉じこもりがち。同じ病気を経験した者同士なら、いろいろな思いを分かち合えるのではないかと思い、'11年7月「よつばの会」を発足しました」。現在、会員は66名。原さんを交えて、1回に10名ほどの会員が集まり、それぞれの病気について話し合い、体験をシェアしていきます。



↑よつばの会のミーティング風景。会員は子宮がん、卵巣がん、乳がんなど、女性特有のがんを体験した女性たち。原さんを囲んで率直に話し合う

→5月に行われたよつばの会では、ウィッグの無料貸し出しを行うNPO「ウィッグリングジャパン」も参加。「毎回メンバーは違いますが、すぐにうちとけて盛り上がるんですよ」

